

いまを知ろう。
語ろう。考えよう。

国立市公共施設白書



8割が建設後30年以上経過

建築物だけでなく道路や下水道といったインフラ施設も老朽化しています。
何を優先し、どのように維持管理していかなければいけないか。
さまざまな視点から公共施設を考える本…それが「公共施設白書」です。

国立市

はじめに

国立市では、昭和40年代から50年代にかけて、大規模団地の建設等による人口増加や多様化する市民ニーズに対応するため、多くの公共施設の整備を行ってきました。これらの公共施設は建設後30年以上が経過しており、今後、大規模改修や建替えが必要な時期を迎えます。また、道路や下水道といったインフラ施設についても同様に老朽化が進んでおり、長寿命化や更新に向けた取り組みを行っていく必要があります。

これらの取り組みには多額の費用が必要となりますが、今後、人口の減少や少子高齢化の進展により財政状況が一層厳しくなることが見込まれており、十分な財源を確保することが難しい状況です。また、当時から現在に至るまでに社会情勢は大きく変化しており、公共施設に求められる役割も変化してきていると同時に、新しい行政課題も数多く提起されております。

このような状況の中、限られた財源において、社会の変化に対応し、必要な行政サービスを維持・向上していくためには、公共施設の用途変更や複合化、統廃合といった再編の取り組みが必要となります。これからの公共施設のあり方を検討するにあたり、公共施設の現状や課題をまとめたものが「公共施設白書」です。

今後は、市民のみなさまと情報を共有し、ご意見をいただきながら、また現代の専門的知見も活かしつつ、これからの公共施設のあり方を検討していきたいと考えております。この「公共施設白書」を基礎資料として、これからの公共施設のあり方について、ともに考えていただければ幸いです。

平成28年3月

国立市長 佐藤 一夫

国立市公共施設白書

目次

はじめに

第1章 白書概要

1 白書作成の目的	1
2 これまでの取組み	1
3 白書の対象施設	3
(1) 公共施設(公共建築物)	
(2) 公共施設(インフラ施設)	
4 白書の構成	6

第2章 市の概要

1 市の概要	7
2 市の歴史	8
3 市の交通状況	9
(1) 道路網	
(2) 鉄道の利用状況	
(3) バス運行状況	
4 流出入人口	12
5 市の人口	13
(1) 人口の推移	
(2) 将来人口の推計	
(3) 地域別人口の状況及び将来予測	
6 市の財政	19
(1) 歳入・歳出	
(2) 基金残高	
(3) 地方債残高	
(4) 多摩 26 市との比較	
(5) 将来の市民税収入額見込み	
7 市の職員数	26

第3章 市が保有する財産の状況

1 市が保有する土地の状況	29
(1) 市が保有する土地の利用内訳	
(2) 市有地・借地	
(3) 低・未利用地	
(4) 用途地域	

2	市が保有・管理する建物の状況	34
(1)	市が保有・管理する建物の内訳	
(2)	築年別整備状況	
(3)	耐震化の状況	
(4)	人口構成の変化に対する公共施設の整備状況	
3	更新費用の試算	38
(1)	公共建築物	
(2)	インフラ施設	
(3)	公共施設(公共建築物・インフラ施設)	
(4)	一部事務組合の状況	
4	用途別・地域別の状況	47
(1)	用途別施設数・延床面積	
(2)	維持管理・運営の状況	
(3)	地域ごとの整備状況	
(4)	避難施設の状況	

第4章 用途別実態把握

1	コスト情報とストック情報の的確な把握	57
2	建物評価の方法	58
3	公共施設の配置状況	60
4	施設の実態把握	62
◆	行政系施設	
(1)	庁舎等	62
(2)	消防施設	73
(3)	廃棄物処理施設	83
◆	コミュニティ関連施設	
(4)	地域集会所	92
(5)	地域福祉館	106
(6)	地域防災センター	118
(7)	市民プラザ	130
◆	文化・社会教育系施設	
(8)	図書館	142
(9)	公民館	157
(10)	その他社会教育施設	168
◆	スポーツ施設	
(11)	体育館	182
◆	学校教育系施設	
(12)	学校	194
(13)	学校給食センター	224

(14) 教育センター	231
◆ 福祉保健系施設	
(15) 保健センター	240
(16) 高齢・社会福祉施設	248
(17) 障害福祉施設	264
◆ 子育て支援施設	
(18) 保育園	273
(19) 児童館	287
(20) 学童保育所	298
(21) その他子育て支援施設	309
◆ その他	
(22) 自転車駐車場	318
(23) 公衆便所	327
(24) 産業振興施設	335
(25) その他	341
5 機能別実態把握	347
(1) 貸し部屋機能の状況	
(2) 図書館機能の状況	
(3) プール機能の状況	

第5章 地域ごとの公共施設を通じた公共サービスの実態把握

1 地域別実態把握	363
(1) 市全体から見た地域の特色	
(2) 地域ごとの分析	
(3) 地域別施設の規模と更新時期	

第6章 保有資産の有効活用

1 公共施設の課題のまとめ	377
2 保有資産の有効活用の必要性	379
3 今後の取組み	380

本書を読む際の注意事項

1. 本白書では、「平成 26 年度」データを基本に調査を行っています。
2. 本白書では、次のような端数処理をしています。
 - 文章中の合計数値は、「億円」、「万円」等で記載しているため、グラフ等の数値と一致しないことがあります。また、「約」を付けずに表記している場合があります。
 - 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。

